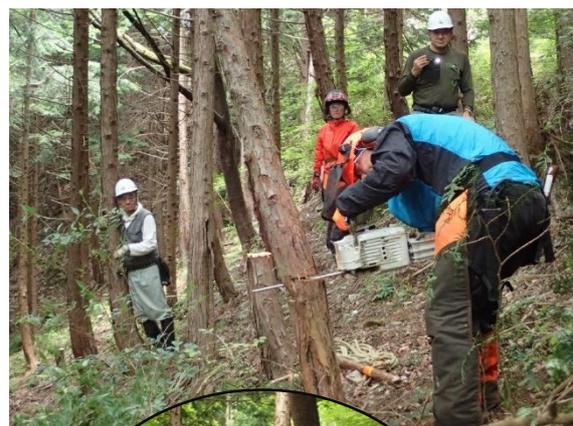


森づくり活動報告書

場 所	森林インストラクターの森
日 時	2025. 6. 8(日)
天 候	曇り時々晴れ
参加者	・池田、横山、藤井、星野、芳野、田崎、近江、毛利、桑原、大木、沖本 ・森林インストラクター資格試験支援講座受講者(高橋、小河、朝倉)
報告者	・大木(通常活動報告) ・星野(林業体験実習報告:別紙)
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・回廊整備用材へ流用の為のヒノキ間伐を実施した。 ・森林インストラクター資格試験支援講座(林業体験実習及び植物の同定実習)を実施した。 ・定点カメラの定期点検をした。 ・勉強会は、樹名板(間伐材など使い)の作り方や設置方法など、芳野さんから講義を受けた。
記 (今後の 予定や感想 など)	<p>斜面上部の小径木ヒノキを、藤井さんと毛利さんがチェーンソーで伐倒し、他の人は手ノコで玉切りや枝切りを実施。ヒノキは密植されていて、枝は粘りが有るため、かかり木になり易く、このかかり木処理が、「林業災害事故の大半を占める！」と話す沖本部長のもと、皆引き締まって作業を行っていた。手作業は最も危険、ロープの引く方向などを指導していただいた。休憩時間も忘れるくらい、真剣になっていたのが印象的だった。</p> <p>間伐終了後、テーブルを囲んで全員が車座になって、毛利さんが試験支援のために、葉っぱ同定のクイズをしたり、樹名板勉強会をしたり、お弁当を食べたりしたりする雰囲気がとても和やかで、ボランティアの良さを感じました。勉強会での芳野さんの試作品は、手作り感がとてもステキで、今度作ってみたいと感じた。</p> <p>今回、初参加でしたが、放置生産林を借り受けて 20 年、カツラ、ホウノキ、トチノキなどが優占する広葉樹の森が育ち、フクロウやツキノワグマが定点カメラで確認されていることなど、生態系が戻った素敵な空間を体いっぱいを感じる事ができた。</p> <p>そして何より、そのことを穏やかに回想して、車座トークする先輩が会長さんであることを知り、そんなとき、かたわらでお色気トーク?をつがやく会員(おじさんです)もいたり、何より「車座トーク」が良かったです。個人的に今年は忙しく、秋になりますが、次の参加を楽しみにしています。</p> <p>〈今後の予定〉・萩ヶ丘小学校植樹体験予定地の地拵えを予定 ・横山さんにツツジの剪定方法のレクチャーを依頼</p>



昼食後の車座トーク中

